

令和8年6月11日

第1回東京都エネルギー問題アドバイザリーボード

午前10時57分開会

【吉村局長】

それでは、おそろいでございますので、これより令和8年度第1回東京都エネルギー問題アドバイザリーボードを開会いたします。

私、4月に東京都産業労働局長に着任しました吉村でございます。議事が始まりますまでの間、進行役を務めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、5人の委員の皆様にご出席いただいております。オブザーバーとして、資源エネルギー庁資源・燃料部長の和久田肇様、省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長の廣田大輔様にもお越しいただいております。また、有識者ヒアリングにおけるゲストスピーカーとして、一般財団法人日本エネルギー経済研究所研究理事中東研究センター長の坂梨祥様にもご出席いただいております。ありがとうございます。

初めに、小池知事からご挨拶させていただきます。知事、よろしくお願いいたします。

【小池知事】

エネルギー問題アドバイザリーボードを本日も開催させていただきましたところ、和久田様、そして廣田様をはじめとする皆様方にもご参加いただき、どうぞよろしくお願い申し上げます。そして、この後プレゼンテーションをお願いいたします坂梨様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

中東情勢ですけれども、日々激変が続いて、昨日今日と考えましてもあまり良好ではないというか、悪化しているという状況だと思います。大変目まぐるしい変化にあり、かつ円安も、さらに円安傾向が強いということもございます。長期化しますと国民生活、経済活動に大きな影響がございますので、構造的な危機として改めて考えるべきではないかと考えております。

逆にこのピンチをチャンスに変えるいい機会でもあろうかと思いますので、様々なオルタナティブを考えていくことも重要かと思います。まさにエネルギー安全保障の分野かと思えます。また、一方で暑さ対策は、今年もかなり厳しいという予測が出ておりまして、森本さんも一緒に頑張ったクールビズをさらに一段と上げまして、半パンもオッケーぐらいにしました。Tシャツも、職種によりますけれども。ということで「T o k y o C o o l B i z」も既に始めております。脱炭素化ということもございます。

先月末にオランダ・ロッテルダムで開かれました世界の水素関係者が一堂に会する「水素サミット」にも出席をしましてまいりました。中東情勢の先を見据えた前向きな議論が、その場で交わされておりましたし、また、エネルギー構造の転換に向けたダイナミックな流れも世界で起こっているなということを感じたところでございます。

都といたしまして再生可能エネルギーの基幹化や、また水素エネルギーの社会実装などの取組を推進していきたいと考えております。

どうぞ長期的な視点からエネルギーの安定供給と脱炭素化の両立をいかに実現していくか、考察、展望を幅広くご議論いただきまして、より実効性の高い施策の展開につなげていきたいと考えておりますので、本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

【吉村局長】

知事、ありがとうございました。委員の皆様にご協力いただきまして実りある議論をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

報道関係の方々におかれましては、事前にご案内いたしましたとおり、公開はここまでとさせていただきますので、こちらで皆様ご退室をお願いいたします。

(プレス退室)